

## 寒竹先生 質疑応答未回答質問へのご回答

質問番号	質問内容	ご回答
45	科学を伝えることについてのお話でしたが、途中でお話があったように現在の科学コミュニケーションは市民の意見を拾うことにも目が向けられています（未来館はそのあたりに重きをおいているはず）。そのような取り組みをなにか行われているか、またもし行われている場合はそのコツなどを聞かせていただきたいです。	届ける相手（市民）の受け止め方・知識・関心を知らないと上手く届けることができないので、科学トピックに対してネット上の反応や身の回りの人の反応は積極的に収集するように心がけています。が、事件になるような出来事がないかぎり、なかなか意見を拾うことはできないのが現状です。小説もそうなのですが（商品開発なども同じかもしれませんが）、届けたい相手に「何を書いてほしいか」「何を知りたいか」などと聞いてもなかなか出てこず、こちらが何かを提示して初めて「そういうことが知りたかった!」「それが欲しかった!」となることが多い気がしています。こちらの発信して初めて意見が生み出されることもあると思うので、相手がいい意味で思わず何か反応したくなるような、きちんと相手に届くコミュニケーションをしていくことが、市民の意見を拾う「コツ」かもしれないと考えました。
46	寒竹さんは企画立案から参加されることが多いのですか？	ライターとしての働き方の問題ですが、わたしは企画立案して持ち込むことは、あまりしていません。自分発信のものは小説家の方で行っているため、ライターとしては依頼者の望みをかなえる働き方が好みます。依頼者の望みを最適解を探中で、いろいろな提案をしていくことはよくあります。
47	伝えるプロは、理系ではない方もできるというようにお話だったと思いますが、どれくらい科学の知識・理解があった方がよいと考えますか？科学の知識というよりは、研究のプロのお話をそれなりに理解して噛み砕いて説明できるスキルがある方がよい、というイメージでしょうか。	取材相手や機関などファクトチェックなどの監修をしっかりと担当してくれる相手と組み合わせ、その道の専門家ではなくても、伝えるプロと一緒に良いものを作れると思います。どれくらい科学知識・理解があったほうがよいかは、目指しているアウトプットによりますが、たとえば雑誌『日経サイエンス』レベルのアウトプットをするなら、『日経サイエンス』の記事を理解して面白く読める知識と感性が必要だと思います。科学の話面白いと感じられることが一番重要で、それさえできたら理解できるまで調べたり質問したりできるかなと思いました。基礎的な研究を「面白い」と感じるためには前提知識が必要なので、その研究を面白いと感じられるかどうかは、必要な知識の指標になるかもしれません。
48	「人手不足」とのことですが、サイエンスコミュニケーター・ライターとして生活しているものなのでしょうか？以前サイエンスコミュニケーション講座に参加したとき、日本ではサイエンスコミュニケーションにあまりお金をかけないことが多く、サイエンスコミュニケーターになってもそれでは食べていけない、というお話を伺っていたので、人手不足というよりもむしろ「少人数で仕事を奪い合うくらい状況なのかな？」とっていました。	講演の中でお話しましたが、伝えるプロ+サイエンスコミュニケーションのプロの合わせ技なら生活していけると思います。科学館の仕事だけでは狭き門だと思いますが、ライター、編集者、イラストレーター、研究機関の広報、翻訳者などの能力があり、加えてサイエンスコミュニケーションもできる人となれば今のところは引く手あまただと思います。また、たとえばわたしは理系ライターの仕事がメインですが、理系以外のライター仕事もできるので、リスクヘッジもできます。
49	大学で授業をしています。伝えることの難しさを感じています。学生が興味をもつような工夫として、何かよいアイデアがあれば教えていただけると幸いです。	わたしも初年次の日本語リテラシー（レポートの書き方・プレゼンなど）の授業を担当していますが難しいです。講義というよりはワークメインなので参考になるかわからないですが、思いつくまま列挙します。①各授業ごとにワークシートを配って何を修得すればいいかを見る化する。ワークシートに10個埋めたら10点のような点数があると、なぜかみんな全部埋めようとする。②勉強から離れたお題で練習してみる。就職の志望動機などを例に客観的記述を説明したり。③今やっていることが何に結び付くのか、ゴールを示す。わたしの授業の場合はレポートの書き方を学んでいるというより、自分で問題を発見して考察して伝える力を学んでいるので社会に出てからもずっと役に立つことを力説します。講義なら現在使われている技術に結び付けるとかでしょうか。④グループワークをすると学生のみなさん元気になります。大人数の授業なら2人1組で隣の人に考えを説明するなど。ただ楽しいだけで終わらないよう、時間配分と内容を工夫。⑤「届け〜」と念をこめて一生懸命やる。
50	企業ではコミュニケーター/広告企画担当者をして自社実験結果や製品効果などを一般生活者へ伝えていていると思います。その場合、ある程度情報について理解している自社の多職種の人に伝えることが必要となりますが、一般生活者向けと違ったコツや注意点などありますか？どうしても科学的な知識の差や興味関心のレベルが障壁となり、一般生活者に届いていない感覚があります。	たとえ同じ理系同士であっても、研究分野が違えば、結構話が通じなくて、一般の方向けに伝えるときと同じくらいのわかりやすさ・レベル感で伝えてちょうどいいのではないかと経験的に感じています。広報の担当の方に対しては一般生活者に直接届けるのと同じイメージで一生懸命に説明をして、その場で広報の方に一般生活者の代わりに疑問点を質問してもらって、わかりにくいところと一緒にクリアにしていけば、一般生活者にも届きやすい情報になるのではないのでしょうか。その言い方だとかみ砕き過ぎて重要どころが伝わらない、など、開発者側からの駄目出しもしつつ、その場で表現をつくり上げられたら良いものができるだろうなと思いました。

質問番号	質問内容	ご回答
51	出版社で編集者をしています。編集は寒竹さんの指摘されている科学者と伝えるプロの間を取り持つ役割かなと思っています。これまでのご経験で、そういう意味での編集者や出版社が間に立つ意義を感じたことはありますでしょうか。	あります！わたしも理系側の人間なので、ついこのくらいはわかるだろうと気が緩んで難しいまま書いてしまったりします。出版社の編集者さんと仕事をすると、いつもその甘えに気づかれます。編集者さんのたくさん経験値から生まれる磨き抜かれた企画があって、わからないことをあきらめずに指摘してくれる粘り強さがあって、初めて多くの人に届く本になるのだと思います。
52	キュレーターという言葉を使う方もいろいろな分野でいらっしゃいますが、「コミュニケーター」は前者と職能としてはどのような点が違うのでしょうか？	キュレーターはキュレーションをする人、コミュニケーターはコミュニケーションをする人…と考えると、個人的な意見ですが、コミュニケーションの手法にはいろいろあって（書くこと、話すこと、展示することなど）、キュレーションもコミュニケーション手法のひとつとして使えますし、コミュニケーションを敢えてしないキュレーションもあるかなと思います。その人が何がしたいかで名乗り方が違うのかもしれませんが。
53	科学者本人が感じている「面白さ」をそのまま市民に伝えようとすると、前提の話が多くなりすぎて、面白さを感じる前に離脱してしまいそうですね。とはいえ市民ウケの良い表現にすると厳密ではなくなってしう。伝える力を鍛えられれば、科学者の感じている面白さをそのまま伝えられるものなのでしょうか？	おっしゃるとおりです。厳密ではないけれど間違いはないぎりぎりの表現を模索する日々です。しかしどれだけ伝える力を鍛えても「科学者の感じている面白さをそのまま伝える」のは無理だと思います（科学者に限った話ではなくて、たとえば小説家や詩人ですら自分の感じた面白さをそのまま伝えるのは無理だと思っています）。そのままじゃなくても、少しでも伝われば、そこから自分なりの面白さを見つけてくれる入口になれてそれでいいのかなと思っています。
54	具体的な失敗はありますか	最初のころ、わからないことは聞けばいいと思って研究者取材に臨んだら、わからなさすぎて、何がわからないのかもわからなくて何も質問できなかったため、先生にいちから授業をさせてしまったことがあります。ものすごく反省しています。しかしおかげで、その分野はかなりわかるようになりました。贅沢な時間でした。リベンジしたいです。
55	（質問ではなくて恐縮ですが、）色んな人を科学の側に引き込もうとする自文化中心主義的な姿勢（雰囲気？）が、もしかしたら科学コミュニケーションの難しさを生んでいるかもしれないなど、お話を聞きながら考えていました。	ある意味、「科学教」の布教みたいところがありますよね。科学が良いものである、という一つの軸だけでなく、そうではない軸、たとえば哲学や倫理学や歴史や心理学や生活者の声など、そういったものもきちんとふまえて、聞く耳を持ちながら伝えていきたいと思いました。コメントありがとうございました。
56	科学に興味が無い学生さんや、科学が嫌いで苦手意識のある学生さんに講義をするときの自身の葛藤に、先生のお話を重ねて聞いてしまいました。参考になる部分が多々ありましたので、トライしてみます。	興味を持ってくれない相手への講義、ほんとうに難しいですよ…。大学の授業は伝える難易度が高いミッションだなとも思います。これがうまくできたら、伝える人として最強になれるのではないかと思いつつ、日々試行錯誤しています。コメントありがとうございました。